

浜通り周辺地区 景観まちづくりニュース

第1号

(平成 29 年 11 月 29 日)

発行：焼津市都市デザイン課

焼津市では、本市固有の景観の美しさと大切さを再認識し、市民・事業者・行政が協働で、良好な景観を守り次の世代に繋げていく、あるいは、好ましくない景観の改善を進めていく、「景観まちづくり」に取り組んでおり、現在、景観まちづくりに関する理念や方針、ルール等をまとめた「景観計画」の策定に向けた作業を進めています。その中で、浜通りとその周辺を「景観まちづくり重点地区」に選定し、「重点地区計画」を策定したいと考えております。

そこで、地区の景観まちづくりの考え方や具体的な取組みについて、協議会を設立し、地区の皆さんとともに検討していくこととなりました。

この「景観まちづくりニュース」では、浜通り周辺地区の重点地区計画の策定に向けた意見交換など（浜通り周辺地区景観まちづくり重点地区協議会）の様子をお伝えしていきます。

第1回浜通り周辺地区景観まちづくり重点地区協議会が開催されました！

◆協議会の構成◆

委員：自治会長、区長、公募住民等（21名）

オブザーバー：浜通り活性化フォーラム

（以下「フォーラム」）（2名）



会長からのあいさつ

◆第1回協議会の様子◆

第1回協議会は、委員19名（2名欠席）とオブザーバー2名にご出席いただき、11月13日（月）に開催されました。協議会では、背景や目的の説明、役員選出の後、景観に関するミニ勉強会が行われ、景観まちづくりの考え方や事例などが紹介されました。その後、3グループに分かれ、参加者同士で勉強会の感想、地域の景観についての感想、これからの進め方などについて意見交換するとともに、最後に各グループの意見交換の結果を全体で発表し合いました。

意見交換の結果の概要は、裏面をご覧ください。



意見交換の様子



発表の様子

意見交換の結果の概要

1. 勉強会や地区の景観についての感想

■地区の景観について

- 電線類や空き地が景観を損ねている
- 空き家や空き地が増加している
- 伝統的な住宅は少なく、近代的な建物が多い



■地区の現状や課題

- 人口が減少している
- 津波対策や古い住宅の耐震性の問題など、防災の課題がある
- 浜通りの活性化はフォーラムですでに検討している
- 浜通り周辺は観光商業と住みやすさのどちらを優先するのか
- 浜通りには港まちとしての歴史があり、庚申さんや弁天さんなどが残っている



■こんな地区にしたい

- 子どもたちが愛着を持つような地域にしたい
- 代表的な地域資源は守っていききたい
- 定住人口を増やしたい
- プロムナード（遊歩道）の整備を続けてほしい

■景観まちづくりを進める上での意見

- 対象区域の設定や名称を検討してほしい
- ハード整備は資金面の問題がある
- 地区の将来像について、行政の考えを知りたい



対象区域のイメージ

※区域は今後の協議により変更する可能性があります

2. これからの進め方について

- 地区住民に趣旨を理解してもらえるのであれば住民アンケートを行う
- みんなで地区のまち歩きをやってみたい
- 同様の景観まちづくりを進めている他市町地区の視察に行ってみたい

お問い合わせ

焼津市役所 都市政策部 都市デザイン課 計画担当

〒425-8502 焼津市本町 5-6-1（アトレ庁舎 2階） TEL：054-626-2160 FAX：054-626-2184